



秦荘中学校 学校通信

至誠

スローガン

「笑顔いっぱい、ともに学び、
ともに伸びる学校」

令和5年(2023年)

5月8日 第2号

発行者 久保田重幸

自転車に乗る時はヘルメットを着用しましょう。

5月に入り、新学年の生活にも慣れ、自分の力を少しずつ発揮できるようになってきた頃ではないでしょうか。さて、4/20に実施された交通安全教室(全校生徒対象)で警察の方がお話しされたように、令和5年(2023年)4月1日より、法律により自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。ヘルメット着用が努力義務化された理由は、近年、自転車事故が増加していることによります。警察庁の調査によると、交通事故全体に占める自転車事故の割合は、18.2%(2018年)から22.8%(2021年)へと増加する傾向にあり、2021年の統計では、自転車事故に関連する死亡・重症事故の相手は約76%が自動車であったとことが報告されています。また、そのうち出会いがしらによる事故は約55%と最も多く、こうした事故では自転車側はその78%が安全不確認や一時停止を行っていない等の法令違反がみられたそうです。さらに、2018年~2021年に発生した自転車事故では、死亡事故の犠牲者の約6割が頭部に致命傷を負っていることが判明したそうです。頭部へのダメージが致命傷につながる確率が高いことがわかります。しかし、ヘルメットを装着していると死亡率は大きく下がり、ヘルメットを着用していない場合の死亡率は、着用している場合と比較すると約2.2倍高くなっています。頭部へのダメージを防ぐ意味でも、ヘルメット着用は重要です。本校でも、4月に2件の交通事故が発生しましたが、「自分の命は自分で守る」という気持ちのもと、自転車乗車時には、ヘルメットを必ず着用しましょう。



「3つの笑顔」がみられた3年生修学旅行

4月25日(火)~27日(木)に、3年生の修学旅行(広島・姫路方面)が実施されました。わずか3日間ではありましたが、3年生の確かな成長を感じることができた、素晴らしい修学旅行となりました。解散集会での私の話をここに紹介して、修学旅行のまとめとします。

3年生の皆さん、3日間の修学旅行、本当にお疲れさまでした。私は、3日間皆さんと一緒に過ごして、出発集会で述べた「3つの笑顔」を数多くみることができました。まず、1つめの「自分の笑顔」では、1日め、新井さんの広島被爆体験のお話をしっかり聞き学びを深めた人。テーブルマナーの学習で自分から質問して学びを深めた人。また、2つめの「友達や出会った人の笑顔」では、1日め、雨の中でも早め、早めに行動し50分の時間短縮に協力できたみんな。2日めの朝、混み合うエレベーターで他のお客さんと合流し、エレベーターを降りる時に、「すみませんでした」と心配りできた人。3日めの姫路城で外国のお客さんにも明るく挨拶できた人。さらに3つめの「家族の笑顔」では、今日、こうして全員無事に家へ帰ることができ、この後、生まれるご家族皆さんの笑顔。私は、今、このような様子を見て、出発式で述べた「笑顔いっぱいの修学旅行」を確かに実現できたことで、皆さんは、修学旅行以前より、さらに一歩成長できたと感じています。私は、今年度の始業式で、皆さんに「笑顔いっぱい、ともに学び、ともに伸びる学校」にしようと呼びかけましたが、まさにこの3日間は、「笑顔いっぱい、ともに学び、ともに伸びた修学旅行」であったと思います。今後は、ぜひ、その成長を自分自身でしっかりと自覚するとともに、秦荘中のリーダーとして、また、自分自身の進路実現に生かせるようともがんばりましょう。最後に、本日お迎え頂きました保護者の皆さん、誠にありがとうございます。皆さまのおかげで何とか無事に修学旅行を終えることができます。今夜はぜひお子さんの素晴らしい経験をご家族で聞いていただけると幸いです。これで私からの話を終わります。ありがとうございました。